

## <その他のご質問>

### ブリッジ・ブランチの設定方法

テンプレートを表示し、必要項目を「N」から「Y」に変更することで相手店舗にそれらの機能を承認することが出来ます。

入力例： >KYAXXX (XXX=相手店舗の店舗コード)

>KYAXXX

MODIFY 2Z7/163XXXX ACCESS FOR XXX/163XAXA

CHANGE THE N TO Y NEXT TO EACH AREA TO ALLOW ACCESS

ACCESS PNRS	(N)	ACCESS QUEUES	(N)	ALLOW QEP/QEM	(N)
ACCESS PROFILES	(N)	CHANGE PROFILES	(N)	DISP PRO S LINES	(N)
ALLOW TKTNG/DOC	(N)	HARDCOPY	(N)	DISPLAY DDL	(N)
UPDATE DDL	(N)	EMULATION	(N)	SECURITY/SINE	(N)
WORLDGRP AVAIL	(N)	CONF FARE RMK	(N)	ACCESS PRV FARES	(N)
EMULATE SECURATE	(N)				

通常、相手店舗に発券を依頼する時は、「ACCESS PNRS」「ALLOW TKTNG/DOC」を「Y」に変更します。またキューでPNRをやり取りする場合は、双方に（相手店舗からも）「ALLOW QEP/QEM」を「Y」に変更する必要があります。

必要項目を「Y」に変更したら、その後ろでエンターします。  
OKのレスポンスが返り、変更が登録されます。

### ブリッジの解除

設定したブリッジブランチの関係解除方法

入力例： >KYDXXX

BRIDGE RELATIONSHIP DELETEDのメッセージが表示され、解除が完了します。  
その後、一覧表などを表示すると解除したはずの店舗がリストに残って見えます。  
これは、表示上の問題で、毎月末の更新時に表示から削除されます。  
ブリッジの関係自体は上記入力をエンターした時点で解除されます。

ブリッジブランチ関係を結んでいる店舗の一覧表示： >KY\*